



膠原病・リウマチ内科のご紹介

当科は今年度、専門医を含む常勤医師3名、非常勤医師1名で膠原病に関する外来や入院治療を担当しています。対象となる疾患は関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、血管炎症候群、炎症性筋疾患、全身性強皮症、成人発症Still病など幅広く、生物学的製剤・JAK阻害薬などの分子標的治療薬も積極的に使用しています。毎週水曜日は皮膚科と連携して乾癬性関節炎の診療を行っていることも当院の特色の一つです。また、リウマチケア看護師による外来問診や自己注射指導、入院中のMSWによる社会支援、リハビリ、薬剤・栄養指導など、退院後の生活を見据えた多職種連携を行っています。病勢悪化や感染症など急な体調不良の際は、救急外来看護師を中心にいつでも相談可能な窓口があり、必要な場合はすぐに入院治療にも対応できるため、患者様の安心につながっていると考えています。



伊藤 加菜絵 医師

治療内容

膠原病に関して、各専門科と連携した診療を行っています。

外来治療

関節リウマチに関する生物学的製剤は全て対応可能であり、基本的には自己注射での治療を行っています。リウマチケア看護師による問診では、生活のアドバイスや悩み相談、医師との橋渡しを行うことで、患者様の不安解消に努めています。



各専門科との連携



自己注射指導



看護師問診



膠原病・リウマチ内科 担当看護師

2023年度 診療実績

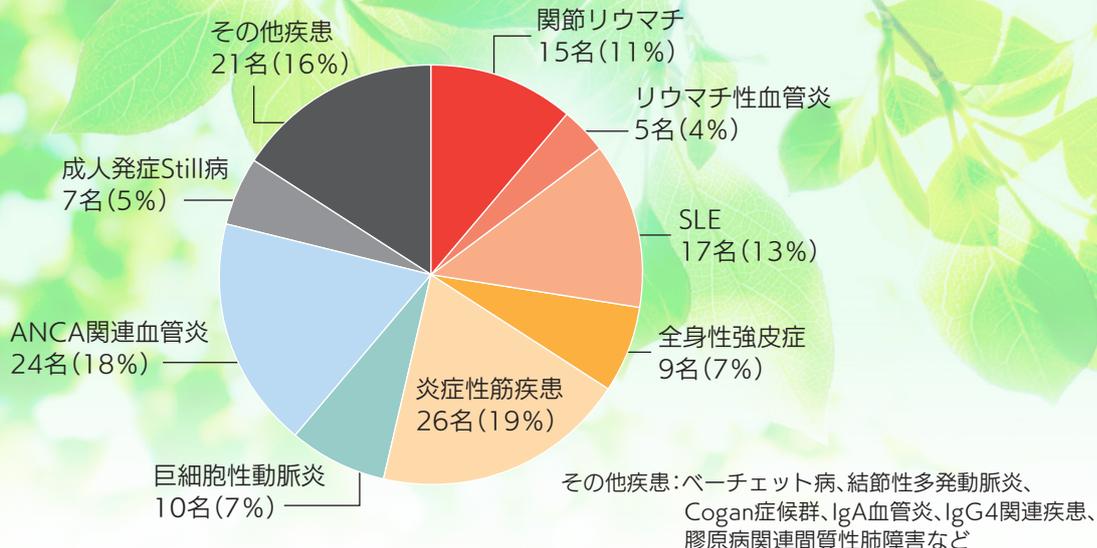
外来治療患者数 645名 初診患者数 225名

疾患名	患者数(人)
関節リウマチ	248
SLE	57
乾癬性関節炎	49
ANCA 関連血管炎	46
巨細胞性動脈炎	25
シェーグレン症候群	22
炎症性筋疾患	19
成人発症 Still 病	17
全身性強皮症	17
その他	145

裏面に続きます ▶

入院治療

2023年度 134名



医療機関の皆様へ

不明熱の三大疾患である膠原病は診断が難しく、また治療においても再燃を繰り返し、薬物療法による合併症で苦しむ患者様が多い領域でした。しかし最近では、分子標的治療薬を中心として飛躍的な発展を遂げ、従来のグルココルチコイドに依存した治療から脱却しつつあります。また、高齢発症関節リウマチの増加に伴い、早期診断・早期治療による廃用症候群の防止や、合併症に配慮した治療が重要となっています。当院では、総合病院の強みを活かし、不明熱を専門とする総合内科と連携して診療を行っております。膠原病に関する精査・治療に関して、外来・入院いずれでも対応可能ですので、お気軽にご相談ください。早めの診察希望に関しても、ご相談いただければ対応させていただきます。

膠原病・リウマチ内科 外来診療担当表

	月	火	水	木	金	土	日
午前							
初診	伊藤(加) 上原(夕)	—	伊藤(加)	伊藤(貴) (第1,3,4,5)	伊藤(加) 大保	—	—
再診	伊藤(加)	大保	伊藤(加)	伊藤(貴) (第1,3,4,5)	伊藤(加)	—	伊藤(加)
午後							
再診	伊藤(加)	—	—	—	伊藤(加)	—	—

患者様ご紹介の流れ(外来の場合)

今村総合病院は、地域の先生方ならびに在宅医療との連携をさらに強化し、安全・安心で高度な医療をいつでも提供できるよう日々診療を行っております。

電話予約

当院代表にお電話いただき、患者様のご紹介である旨と、ご希望の診療科(ご存知の場合には医師名)をお伝えください。

担当の診療科にてご連絡内容をもとに予約手続きを進めます。

紹介状

患者様へ紹介状(診療情報提供書)をお渡しください。

当院受診当日、下記「当日の持ち物」をお持ちの上、A棟1階総合受付へお越しください。患者様へお伝えください。

当日の持ち物 ・紹介状原本 ・マイナンバーカードまたは保険証 ・その他患者様に関する診療情報

患者様の受診後、担当医よりご紹介元の先生へ診療情報提供書にてお返事を申し上げます。



入院その他、
詳しい情報は
こちら

ご連絡・お問い合わせは当院代表 **099-251-2221** までお気軽にお願いいたします